

大人も子供も Let`s BOSAI ～防災力で地域の連携が高まる仕組みづくり～



多賀城市と連携して2022年度より保育防災に取り組む

地域防災力を高めること。正しい避難行動が取れること。それが大切な命を守る事になる。2つの防災力向上に繋がる取り組みのご紹介

利府町菅谷台町内会と連携して防災士育成 ～① 2024.7.28日 前期防災リーダー育成プログラム～

1100世帯
4000人



避難所開設を実践し初歩的な段取りを学ぶ

- 簡易トイレをセッティングする
(テント・便座・汚物処理袋・ペーパー他)
- 防災グッズ(持ち出し袋)中身の違いを確認する
- 実際に簡易トイレを利用してみる(臭い・人目・音…)
- 備蓄食アルファ米を食べてみよう
- 有事の際・避難所生活でのほみがきについて実践と学び
- 湧水場所を知り、災害時の飲料水確保について学ぶ
- 3丁目集会所から菅谷台小学校まで、震災直後を想定しながら徒歩で避難行動。(電信柱・ブロック塀・側溝・車・壊れた家…あらゆることを想定し歩いてみる)

利府町菅谷台3丁目集会所にて

多くの企業・団体個人の協力を得て ～② 2024.10.28日 後期防災リーダー育成プログラム～



- 佐藤美香 語り部の講話45分
- アルファ米を使った本格的スイーツ・おはぎづくり
- 日本赤十字社宮城県支部 防災教育、防災訓練メニュー
- 宮城県公衆衛生協会 飲料水や水について学ぼう30分
- マイ・タイムライン検討キッドを活用した、逃げキッドワークショップ
- 郵便局長防災士として地域に貢献する事の大切さと魅力
- 菅谷台町内を徒歩で歩いて危険箇所を見つけ想像しながら、避難ルートを確認する30分

利府町菅谷台3丁目集会所にて避難所設営体験

大人と子供が連携して汗を流し防災士を目指す ～③ 2024.11.10日 短期救命救急講座～



AEDを活用した心肺蘇生訓練講習・・・3時間
日本赤十字社・宮城支部事業推進課の方をお招きして



防災士の受講資格を得るために必須の講習

大人9名・子供3名の挑戦者たち ～防災士となるための基礎勉強会の実施～



過去の問題集など学習することで、防災士の知識が得られる。その知識がその時救われる命に大きく貢献する。



2025.1.19日 2月2日
利府町菅谷台 4 丁目集会所にて

防災士資格受講費44,000円
大人は半分・子供は全額補助
当初は大人と子供4人程度を見込んでいたが、結果11名がエントリー。嬉しい結果に。

2025.3月利府町菅谷台町内会より9名の合格者 ～大人7人・子供2人の防災士誕生！～



親子で防災士合格。子供との親子関係が深まり家庭内で防災を深く考え行動するきっかけになった。

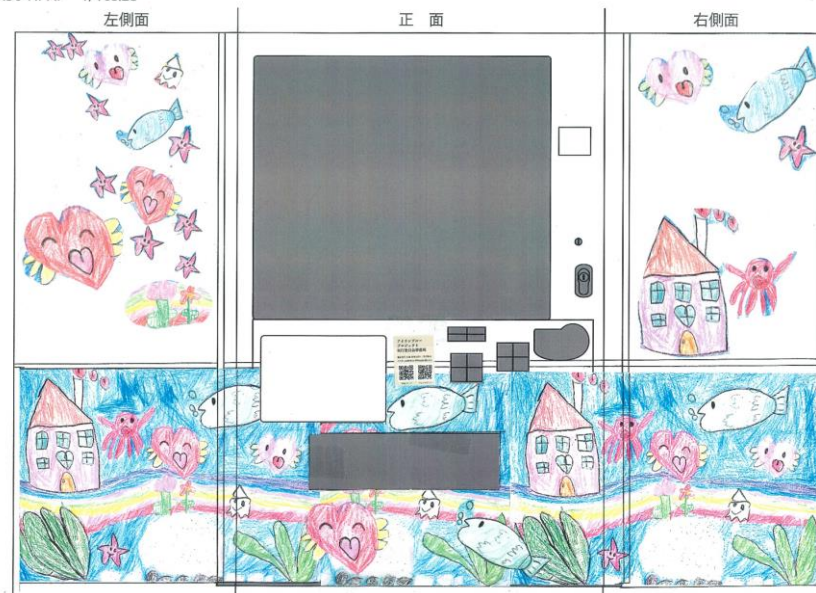


利府町菅谷台より小学5年生と中学1年生の防災士誕生
小学5年生しかも試験満点での合格は極めて稀である。

新たな試み。身近な自販機を防災啓発ツールに ～自販機を活用した防災啓発活動～



F-X36-HPAP 1/10size



東日本大震災で命を落とした佐藤愛梨ちゃんが生前遺していた一枚の作品を自販機に。悲劇を二度と繰り返さないという、母・美香さんの強い願いが込められている。



仙台支局

〒980-0822
仙台市青葉区立町27の21
仙台橋本ビルヂング7階
022-222-5972 FAX022-222-6048
sendai@mainichi.co.jp

石巻通信部
022-222-5972 FAX0225-23-8581

広告 毎日広告社仙台
022-265-4111

購読・配達のお問い合わせ

☎ 0120-468-012

(6:00～20:00、日・祝日は～17:00)

長町	263-2541	上国	222-2844
五軒	223-1655	石巻	279-8154
八幡	234-1842	巻	95-9888
古川	22-0604	仙台東	256-3636
多賀城	368-7666	仙台南	22-0202
岩沼	22-3538	白	26-2553
南小栗	263-2541		



佐藤愛梨ちゃんの絵がラッピングされた自販機を見つめる(左)母・美香さん、後援者乃さん(右)仙台市青葉区

七色の海を愛し、その中心でハートのお魚ちゃんがほほえみながら呼びかける。一番の防災、それは「忘れないうこと」。

ストでラッピングされ、自動販売機が16日、

東日本大震災
13年

仙台白百合女子大
幸せ願うハートのお魚
ラッピング自販機に

愛梨ちゃんの絵 防災呼びかけ

仙台白百合女子大(仙)に持ち込んでいた台所用品に設置された。原画は2011年に東日本大震災でなくなった宮城県石巻市の佐藤愛梨ちゃん(当時6歳)の作品だ。

「みんなを幸せにしたい」との思いを込めて、愛梨ちゃんが描いたハート形の魚たちが、防災の心を呼びかけ、安全な暮らしを願っている。

この絵は愛梨ちゃん10歳の誕生日に、母・美香さんが「イメージ」の海をテーマにしたイラストに描き、それを自販機にラッピングした。愛梨ちゃん生前、津波と震災に巻き込まれたことを、津波の被害を伝える活動の一環で、昨年、仙台白百合女子大で幼稚園教諭や保育士を目指す学生と一緒に、防災の啓蒙を伝える活動をした。

美香さんは「愛梨ちゃん、ハートが好きで、ハートのお魚は『みんなを幸せにするお魚なんだよ』と話していた。絵をきっかけに、何かあった時は避難しなければならぬことを思い出し、安全な暮らしを願う」と話している。

【目次】

みやぎ災害伝承ポスターコンクールとのコラボ ～全国に広がる愛梨ちゃん自販機の輪～



県内5カ所で設置済み



自販機正面の空間に、コンクール入賞者の作品を紹介することで、地域の防災への関心がより高まり、地域防災意識向上の一助になることを目的に活動しています。



県外設置1号自販機。
県外は現在4カ所設置済み